

No.	009	—	3001	事務事業名	健康センター管理業務	細事務事業名	健康センター管理業務	公的関与	1				
PLAN	課名	健康推進課	係名	食育推進係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	57年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(1)保健事業推進体制の充実				
	事業の対象	センターを訪れる市民及び職員				根拠法令							
	事業の目的	最終的	センターにおける業務を効率よく行い、利用者の利便性向上を図ります。また、施設の適正管理を行うことで事故防止と円滑に業務を遂行できる環境を維持します。				今年度						
	活動内容	①	専門業者への委託により定期的な設備点検を行います。				④						
		②	定期点検以外にも、日常点検を行うことにより不良箇所の早期発見と対応を行います。				⑤						
		③	必要に応じて改修や修繕等を行い、施設的环境整備を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		事故報告件数		事故件数		件	目標 0	0	0	0			
					実績 0	0							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生		費					
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	5,233千円	1,474千円	1,654千円								
	計(A)	5,233千円	1,474千円	1,654千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.410人	3,091千円	0.364人	2,198千円	0.364人	2,202千円					
		臨時職員工数・経費	0.252人	429千円	0.199人	362千円	0.301人	564千円					
	全体事業費(A+B)		8,752千円	4,034千円	4,420千円								
一次評価者	食育推進係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	母子や成人の健診・相談事業が行われ、多くの方に利用していただいています。施設は今以上に重要となるので、一層の環境整備が必要です。												
有効性	設備の点検を定期的に行い、不良箇所を早期発見、対応することで事故防止と施設の延命につながります。												
達成度	点検や修理により安全は確保されていますが、老朽化しているため順次改修が必要です。												
効率性	点検は必要最低限の回数のみ行っています。修理・改修も必要に応じて実施しています。												
当面の課題	定期点検や日常点検により適正に管理できていますが、施設及び設備の老朽化に伴い、修繕・改修が必要になると予想されます。利用者の増加により駐車場が不足する場合があります。新施設建設の目処は立っていませんが、仮に建設できたとしても当施設の重要性に変わりはありません。												
改革計画	改修は点検結果等に基づき、必要に応じて予算計上します。駐車場については、用地確保は困難であるため、支所や川内中学校等近隣施設の協力を得て、利用者の利便性を確保していきます。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	平成18年度の耐震補強工事等により、当面、施設の大規模改修の必要性はないものの、併設の旧医師住宅(2棟)は、地域再生計画により健康ハウス、青空ハウスとして健康増進、在宅精神障害者利用施設として活用しているが、施設設備の老朽化が著しく、取り壊しを含む今後の対応を検討すべき時期にあります。また、新市建設計画に基づく基幹型の総合保健福祉センター建設計画の方向性を検討協議中であるが、早期決定に向けた協議調整が必要です。												

No.	009	—	3002	事務事業名	食育推進業務			細事務事業名	食育推進業務			公的関与	1
PLAN	課名	健康推進課		係名	食育推進係		電話番号	089-966-2191		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度	<input checked="" type="checkbox"/>	期間設定なし	
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農業の振興			主要施策	(8)「食育」の推進		
	事業の対象	市民、地域、職場、学校、生産者、事業者及び行政等					根拠法令	食育基本法					
	事業の目的	最終的	東温市の食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進する上で必要な事項について継続して検討します。				今年度	食育推進計画の基づく各種施策の実施状況の確認、委員からの意見を関係部署に繋げるよう努めます。					
	活動内容	①	食育推進委員会を必要に応じて開催します。				④						
		②	食育推進委員会で、各部署が取り組んでいる食育事業の内容や実施方法等について、関係団体代表者等と意見交換を行います。				⑤						
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標		
		委員会開催回数		開催（予定）回数			回	目標	3	3	2	—	
						実績	3	2					
						目標							
						実績							
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生					費
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	152 千円	94 千円	144 千円								
	計(A)	152 千円	94 千円	144 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.387 人	2,917 千円	0.361 人	2,180 千円	0.361 人	2,184 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.040 人	73 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		3,069 千円	2,347 千円	2,328 千円								
一次評価者	食育推進係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市の食育事業についての意見等をいただき、調整等を行うため、市が行う事業といえます。また、健康や教育など多方面にわたってその必要性があります。												
有効性	意見等をいただき、市の食育事業に取り入れることで、その効率の向上や効果の向上が期待できます。												
達成度	委員会では多方面の方々から意見をいただくことができ、その意見は可能な限り食育事業に反映するようにしています。												
効率性	食育事業を効率よく、かつ、効果的に進めていくことを目的に実施していますので、その効果が期待できます。												
当面の課題	委員の方々全員出席できる日程を設けることが困難な時があります。会議を開催することが目的になりつつあり、実践的な取り組みを導入していく必要があります。												
改革計画	委員会の開催について、委員の方々へ出席の日程調整をしていただくため、なるべく早く通知を行います。各分野の専門家である委員からの意見をもとに新たな取り組みを検討していきます。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	食育推進は、食の大切さや安全安心、健全な食生活を育むことをねらいとしており、実践活動をさらに拡充させ、普及促進を図っていくことが重要と考えます。今後は、推進会議における計画の策定・評価はもとより、地域や職場、事業者等の取り組み状況の紹介やPR等を通じた情報提供を行うことで、さらなる普及啓発に繋げることが望まれます。また、地産地消の推進や消費生活、食品衛生などの関連する取り組みとの連携も深めるべきと思われます。												